

令和7年度 茶道部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	大前真由佳	村上由美子	
副顧問	中本かおり	橋本佳織	
副顧問	井原圭太		
副顧問	小城原友子		

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	部活動と学業を両立させることで、高い目的意識と自図から実践する強い行動力をもって自らの目標を達成すべく日々努力することができる生徒を育てる。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	東京都高等学校文化連盟に所属し、中央大会「冬のお茶会」においてお点前を披露できるよう技術の向上を図る。また茶道文化の発展に寄与するようにする。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	文化庁主催の東京大茶会に参加し、東京を観光する外国の方や一般の方々に向けて茶道体験の実施や点前の披露を行う。

3 指導方針

(1) 技術や技能、体力の向上	外部指導員の裏千家茶道の先生に月3回程度の指導をお願いし、裏千家茶道についての知識を深めさせ、技術の向上を図る。生徒がお稽古に集中して臨み、茶道の知識・技術をより多く習得することで、週1日（木曜）の自主練習の時に上級生が下級生を指導したり、同級生同士で互いに教え合ったりする力を促す。自主練習用に茶道に関する書籍を揃え、自学自習できる環境も整える。このことによって、茶道をはじめとする日本文化への深い理解を促す。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	第47回高等学校総合文化祭鹿児島大会に出場した実績あり ぼろにあ祭での茶道部お点前の発表 「東京大茶会」への参加 東京都高等学校文化連盟茶道部門主催中央大会出場
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	東京都高等学校文化連盟のリーダー研修や中央大会実行委員会へ参加し、他校の生徒たちと積極的な交流を図るとともに、「東京大茶会」などの外部のお茶席へも参加を促す。また、他校との交流茶会も企画し、生徒同士で切磋琢磨する機会を設定したい。
(4) 部加入率の維持、増加	部活動紹介の機会を通して積極的に部員勧誘に努める。また、茶道部は兼部も可能であるので、2年生からの入部希望者についても柔軟に対応し、部加入率の増加を図る。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等の	茶道の特性上、生徒に長時間の正座を強いる場合もあるが、
-------------	-----------------------------

ない指導	個々の生徒の体調等に応じて柔軟に対応し、「体罰」と受け取られないようにする。また、部活動を通じて、和敬清寂の精神を指導していく。
(2) 生徒間の暴力禁止	お稽古の時には、「ことば」(裏千家の茶道の心得を述べたもの)、「利休百首」等を唱和することで茶道の精神を学び、相手を敬い、大切にすることを育てている。
(3) 外部指導員の活用	外部指導員の裏千家茶道の先生との連絡を密にし、部活動が計画的、効率的に行えるようにする。
(4) 事故防止・安全配慮	風炉、炉用の釜には熱湯を用いるため、釜を移動させる時には必ず複数で行うなど、火傷などの怪我がないように注意を徹底する。また、炉は高熱になり、出火の危険もあるため、活動の終わりには必ず電気を切ったことを確認し、火事が起こらないように注意する。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	新入生勧誘のためのお茶会
	5	新入生割稽古
	6	盆略点前
	7	ぼろにあ祭に向けての練習
	8	1 年 立礼薄茶点前 2・3 年 風炉薄茶点前 リーダー研修への参加
2 学 期	9	ぼろにあ祭にてお点前を披露する。
	10	炉開き 薄茶点前・濃茶点前
	11	東京都文化発信プロジェクト「東京大茶会」への参加
	12	「中央大会」研修会への参加 リーダー研修への参加
		東京都高等学校文化連盟主催「中央大会」への参加
3 学 期	1	初釜 薄茶点前・濃茶点前／研究協議会への参加
	2	立礼薄茶点前／研究協議会への参加
	3	研究協議会への参加

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所		和室		和室		研 修 会 (不定期)	研 修 会 (不定期)

7 公式戦・大会等の実績

令和5年度	第47回高等学校総合文化祭茶道部門代表校選出
令和5年度	東京大茶会参加
令和5年度	高等学校文化連盟会長賞受賞
令和5年度	高等学校文化連盟茶道部門中央大会「冬のお茶会」出場
令和6年度	東京大茶会参加
令和6年度	高等学校文化連盟茶道部門中央大会「冬のお茶会」出場

